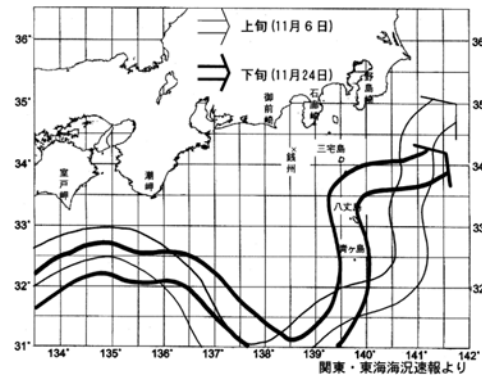


漁海況月報

平成 29 年 11 月 1 日

No. 11 ~11 月 30 日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



11 月定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

| 期間 | 伊東 | 稲取 | 下田 | 雲見 | 沼津 | 焼津 |
|----|------|------|------|------|------|------|
| 上旬 | 20.5 | 22.6 | 21.7 | 21.9 | 21.4 | 21.2 |
| | 0.5 | 2.0 | 1.5 | 1.0 | 1.2 | 1.3 |
| 中旬 | 20.0 | 21.1 | 19.8 | 20.6 | 20.1 | 19.7 |
| | 0.8 | 1.3 | 0.6 | 0.3 | 0.6 | 0.8 |
| 下旬 | 18.3 | 18.8 | 17.7 | 18.3 | 17.4 | 17.4 |
| | 0.0 | -0.1 | -0.7 | -0.8 | -1.3 | -0.6 |
| 月 | 19.6 | 20.8 | 19.7 | 20.3 | 19.6 | 19.4 |
| | 0.4 | 1.0 | 0.5 | 0.1 | 0.2 | 0.5 |

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

11 月上旬は C 型で潮岬沖 32.5° N から南東に進み、31° N、138° E 付近から東北東に進み、青ヶ島の東 32.5° N、141° E から北に進んだ。中旬は A 型で潮岬沖 32.5° N から南東に進み、31° N、139° E から北に進み、八丈島付近からは北東に進んだ。下旬も A 型で潮岬沖 32.5° N から南東に進み、31° N、138.5° E 付近から北上した後、八丈島の西を通り御蔵島付近から東に進んだ。

上旬は、三宅島付近から志摩半島付近に向かう西向き黒潮内測反流があったが、中旬以降は弱まった。

【県下沿岸域】

11 月上旬は、稲取、下田「高め」、伊東、雲見、沼津、焼津「やや高め」であった。中旬は、伊東、稲取、下田、沼津、焼津「やや高め」、雲見「平年並」であった。下旬は、伊東、稲取「平年並」、下田、雲見、沼津、焼津「やや低め」であった。

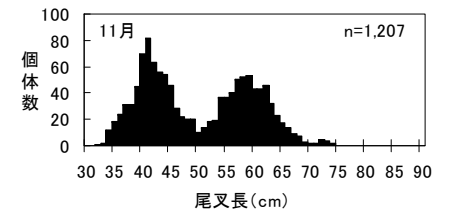
【竿釣りカツオ】

11 月の県内主要 5 港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は 76 トンで前年同月 (39 トン) の 2.0 倍であった。魚価は 606 円/kg で前年同月 (984 円/kg) を下回った。

漁場は 23° ~27° N、140° ~142° E の中南方海域や 34° N、139° E の伊豆諸島北部周辺であり、水揚げされた魚体のサイズは、極小(尾叉長 40~42cm モード)を主体に、大(尾叉長 58~62cm モード)、小(尾叉長 43~45cm モード)、中(尾叉長 54~57cm モード)、チン(尾叉長 36~37cm モード)、特大(尾叉長 65~66cm モード)、特特大(尾叉長 73cm モード)であった。

竿釣り (近海+沿岸船) カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

| 期間 | 水揚量 (トン) | 水揚隻数 | 平均水揚量/隻 (トン) | 平均単価 (円/kg) |
|-------------|----------|------|--------------|-------------|
| 29 年 11 月上旬 | 62 | 23 | 2.7 | 599 |
| 中旬 | 14 | 11 | 1.2 | 629 |
| 下旬 | 0.3 | 3 | 0.1 | 1,067 |
| 29 年 11 月計 | 76 | 37 | 2.0 | 606 |
| 28 年 11 月計 | 39 | 63 | 1.2 | 984 |
| 27 年 11 月計 | 11 | 8 | 3.1 | 711 |



御前崎港における尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網 6 か統 (伊豆山、古網、川奈、富戸、北川、谷津 ※赤沢は新網敷設のため休業中) の水揚量は 141 トンで前年の同漁場の水揚量 (114 トン) の 1.2 倍であった。また、1 か統あたりの水揚量は、23.4 トンで前年 (16.3 トン) の 1.4 倍、平年 (昭和 57~平成 28 年の平均 40.7 トン) の 58% であった。水揚量の多い漁場は、伊豆山漁場 (42.7 トン、ブリ (わかし銘柄)、アカカマス、イボダイ)、次いで川奈漁場 (24.1 トン、さば類、オアカムロ、ブリ (わかし銘柄)) であった。

多獲された魚種の水揚量は以下 (表) の通りで、さば類は 25.7 トンで前年比 1.7 倍、平年比 35% であった。さば類のうち、ゴマサバは 25.5 トン、マサバは 0.2 トンであった。なお、ゴマサバは尾叉長 30~35cm 主体で 25~27cm の当歳魚も混じった。ブリは 20.9 トンで前年比 1.2 倍、平年比 2.5 倍で、銘柄わかし主体であった。銘柄わかし水揚量は 18.1 トン (前年比 1.5 倍、平年比 15.5 倍) と平年を大きく上回った。オアカムロは 17.6 トンで前年比 53.4 倍、平年比 2.8 倍と前年・平年を大きく上回った。イサキは 12.3 トンで前年比 2.6 倍、平年比 2.1 倍と前年・平年を上回った。マアジは 10.4 トンで前年比 2.5 倍、平年比 50% であった。

多獲された魚種の主な漁場は以下 (表) の通りで、さば類は川奈漁場が 32% (8.2 トン)、北川漁場が 24% (6.2 トン)、ブリは伊豆山漁場が 47% (9.8 トン)、古網漁場が 20% (4.1 トン)、オアカムロは富戸漁場が 57% (10 トン)、川奈漁場が 21% (3.7 トン)、北川漁場が 19% (3.3 トン)、イサキは伊豆山漁場が 38% (4.7 トン)、北川漁場が 27% (3.4 トン)、マアジは伊豆山漁場が 39% (4.0 トン)、古網漁場が 20% (2.1 トン)、川奈漁場が 19% (2.0 トン) を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

| 魚種 | 漁獲量 (トン) | 前年比 | 平年比 | 主な漁場 |
|-------|----------|------|-----|-----------|
| さば類 | 25.7 | 1.7 | 0.4 | 川奈、北川、伊豆山 |
| ブリ | 20.9 | 1.2 | 2.5 | 伊豆山、古網、川奈 |
| オアカムロ | 17.6 | 53.4 | 2.8 | 富戸、川奈、北川 |
| イサキ | 12.3 | 2.6 | 2.1 | 伊豆山、北川、富戸 |
| マアジ | 10.4 | 2.5 | 0.5 | 伊豆山、古網、川奈 |

【サバ棒受網】

今月は棒受網で操業を行い、小川港にはゴマサバが290トン（前年同月比1.2倍）水揚げされ、1隻あたり水揚量は13.8トン（前年同月15.7トン）であった。1kgあたり平均単価は89円で前月（85円）をやや上回り、前年同月（92円）とほぼ同額であった。なお、マサバの水揚げはなかった。

漁獲されたゴマサバの体長組成は尾叉長31cmモードで、年齢組成は1～3歳魚であった。

小川港 さば類（棒受網漁業）水揚量

| 期 間 | 水揚量(トン) | | 水揚日数 | 水揚隻数 | 水揚/隻(トン) | | 単価(円/kg) | | 漁 場 |
|----------|---------|------|------|------|----------|------|----------|------|----------|
| | マサバ | ゴマサバ | | | マサバ | ゴマサバ | マサバ | ゴマサバ | |
| 29年11月上旬 | — | 99 | 4 | 12 | — | 8.3 | — | 94 | 銭洲、三宅 |
| 中旬 | — | 118 | 2 | 5 | — | 23.5 | — | 87 | 三本 |
| 下旬 | — | 73 | 2 | 4 | — | 18.2 | — | 87 | 三本 |
| 29年11月計 | — | 290 | 8 | 21 | — | 13.8 | — | 89 | 三本、銭洲、三宅 |
| 28年11月計 | — | 236 | 8 | 15 | — | 15.7 | — | 92 | 三本、三宅 |
| 27年11月計 | — | 401 | 6 | 12 | — | 33.4 | — | 94 | 三本、三宅 |

*1隻が1日で2日分の水揚げをまとめて行った場合、水揚日数は1、水揚隻数は2とカウントしている。

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【サクラエビ船曳網】

平成29年秋漁は11月5日が初漁日であった。11月の出漁日数は11日（昨年同月7日）、水揚量は169トン（前年同月190トン）で、1日1か統あたりの漁獲量は256kgであった（前年同月452kg）。

主な漁場は焼津沖から相良沖で、水揚げされたサクラエビの体長組成は体長37～41mmにモードを持つ1歳が主体で、33mm付近にモードを持つ0歳が僅かに漁獲された。

サクラエビ水揚量

| 期 間 | 水揚量(トン) | 日数 | 1日1か統当たり平均漁獲量(kg) | 漁 場 |
|------------|---------|----|-------------------|---------|
| 平成29年11月上旬 | 26.2 | 3 | 146 | 焼津～相良沖 |
| 中旬 | 63.2 | 4 | 263 | 焼津～相良沖 |
| 下旬 | 79.5 | 4 | 331 | 焼津～相良沖 |
| 平成29年11月計 | 168.8 | 11 | 256 | 焼津～大井川沖 |
| 平成28年11月計 | 189.8 | 7 | 452 | 焼津～大井川沖 |
| 平成27年11月計 | 161.7 | 8 | 337 | 焼津～大井川沖 |
| 平成26年11月計 | 133.5 | 6 | 371 | 焼津～大井川沖 |

*水揚量は、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【シラス船曳網】

主要6港（静岡、吉田、御前崎、福田、舞阪、新居）の総水揚量は77.0トンで前年同期（753.3トン）の10%、平年同期（698.9トン）の11%と、前年同期及び平年同期を下回った。1日1か統当りの水揚量は、駿河湾（静岡、吉田）が56kg、遠州灘（御前崎、福田、舞阪、新居）が93kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は79kgと前年同期（432kg）の18%、平年同期（過去5か年平

均：382kg）の21%と前年同期及び平年同期を下回った。また、平均単価は1,577円/kgと、前年同期（575円/kg）及び平年同期（603円/kg）を上回った。

シラス水揚量（主要6港）

| 漁 港 | 水揚量(トン) | 延日数 | 延統数 | 平均水揚量(kg/統) | 平均単価(円/kg) |
|-----------|---------|-----|-------|-------------|------------|
| 新 居 | 9.2 | 8 | 100 | 92 | 1,635 |
| 舞 阪 | 14.0 | 7 | 192 | 73 | 1,297 |
| 福 田 | 21.7 | 10 | 211 | 103 | 1,297 |
| 御前崎 | 10.2 | 8 | 87 | 118 | 1,663 |
| 吉 田 | 11.0 | 12 | 228 | 48 | 1,957 |
| 静 岡 | 10.9 | 8 | 161 | 68 | 1,981 |
| 平成29年11月計 | 77.0 | 53 | 979 | 79 | 1,577 |
| 平成28年11月計 | 753.3 | 78 | 1,745 | 432 | 575 |
| 平成27年11月計 | 815.4 | 82 | 1,822 | 448 | 674 |

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期：過去5か年（平成24～平成28年）平均値

【まき網（いわし類）】

マイワシの水揚げは、小川港では4.2トン（前年同月比1.3倍、平年同月比10.4%）、沼津港では34.5トン（前年同月比24.2%、平年同月比35.1%）、伊東港では46.6トン（前年同月比41.3%、平年同月比60.6%）、静浦港では無かった。カタクチイワシの水揚げは、小川港、沼津港、静浦港及び伊東港で無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚げは、マイワシが0.7トン、カタクチイワシの水揚げはなかった。

*平年：過去5か年（平成24～平成28年）平均値

【調査船駿河丸の動向】

| | | |
|---------------|-------------------|-------|
| 11月6日～11月8日 | 地先定線観測調査 | (3日間) |
| 11月13日～11月14日 | いわし類卵稚仔及びぶぐ稚魚調査 | (2日間) |
| 11月16日～11月17日 | サクラエビ調査(面積密度) | (2日間) |
| 11月21日～11月22日 | サクラエビ調査(卵数法) | (2日間) |
| 11月27日～11月28日 | さば標識放流調査(三宅島、合の瀬) | (2日間) |

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

